



富山市教育センターだより
第42号
平成31年3月22日
富山市八人町5-17
TEL 076-431-4404
<http://www.tym.ed.jp/c10>

- 学校教育課発
- 教育センター発
- 初任者・新規採用教職員紹介
- 学校紹介

(題字「道」明瀬 正則)

教師は五者たれ

富山市教育センター 所長 池淵 晃

昨シーズン、大リーグの大谷翔平選手が二刀流としての活躍が評価され、新人賞を受賞しました。投手として、打者として、さらには塁に出れば盗塁までやってのける走者として、その全てのプレー（役割）に全力で臨む姿が興奮と感動を与えてくれるのだと思います。

大谷選手は二刀流ですが、初任の頃先輩に教えられた言葉に「教師は五者たれ」があります。ご存じの通り、五者とは、学者、役者、易者、芸者、医者のことを指し、教師はその五者であることが大切だという教えです。大谷選手を超える五刀流です。五者についてはいろいろな解釈があると思いますが、今一度考えてみると…

学者…豊富な知識と専門性を身につけ、教え導くことのできる教師

役者…父や母のように接したり、時に鬼の形相で叱ったりするなど、子どもの心を惹きつけ、魅了することのできる教師

易者…子どもの秘めた力を見抜き、夢を後押しできる、また、未来に対する不安に寄り添い、和らげることのできる教師

芸者…学びの場を楽しく盛り上げ、分かる喜びで笑顔いっぱいのできる教師

医者…子どもの悩みや体の変化等に目を配り、心も体も癒やすことのできる教師

であり、このような教師でありたいという私の願望とも言えるでしょう。

さて、私が3年生の担任をしていた時のエピソード

です。Mさんという女の子が、よく私にじゃれて柔道の技をかけてきました。その時、彼女に「柔道をやってみたらどう？Mさんならオリンピック目指せるぞ」と話しました。適当な言葉ではなく、体も大きく、力もあり、何より体幹がしっかりしていて、光るものを感じたからでした。程なく、彼女が母に柔道を習わせてほしいと願い出たことが分かりました。懇談会で母親から冗談交じりではありましたが、「女の子になんてことを言ってくれたんですか!」とお叱りを受けたのです。

その後、彼女は柔道の強豪中学、高校、大学へと進学し、今、オリンピック強化選手に選ばれ頑張っています。私は彼女がオリンピック出場を果たし、インタビューで「柔道を始めたきっかけは、担任の言葉です」と話す日を夢んでいます。インタビューは冗談としまして、彼女への言葉かけが何かしらの影響を与えたかもしれないとするならば、子どもにとって教師の存在は大きく、その職責の重みを改めて感じます。

今年度、教育公務員特例法の一部改正に伴い、教諭等の資質向上のための指標が示されました。今後、情報技術の進化やグローバル化の進展等に伴って、ますます教員一人一人の資質・能力の向上が求められます。若手教員が増え続けている今、学校現場において「教師は五者たれ」等の不易の部分が伝承されつつ、流行の部分においてもOJTやOFF-JTが一層推進され、何刀流も身につけた教師が育っていくことを願っています。